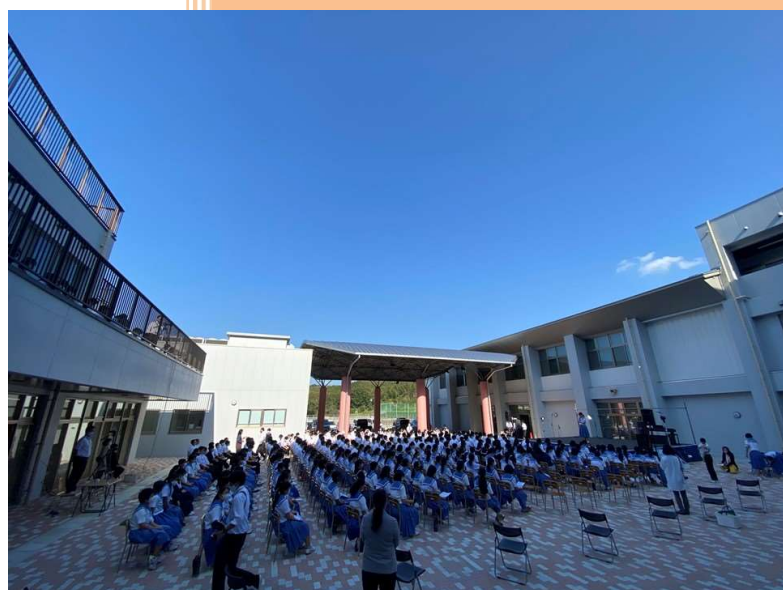


令和2年度 感想文（竹灯籠、文化発表編）



1年生感想文

あれだけの竹を用意してくださり、伐採、準備に携わってくださった地域の方々、PTAの方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。毎年楽しみにしていた合唱コンクールが開催されないことをすごく残念に思っていたのですが、先生方をはじめ生徒全員で作りに上げた竹灯籠に感動いたしました。平和の祈り、個人の願い、色々なメッセージが明りに灯され、皆の切なる思いがひしひしと伝わってきました。優しい灯りは、人々の気持ちを穏やかに温かく、そして優しくする力があると感じました。そして、コロナ禍で全ての行事を安全のために取りやめるのではなく、この状況、この環境の中で何ができるかを考え、取り組み、生徒たちの大切な思い出のひとつにしてくださった学校に心から感謝いたします。

オンライン配信にて開催された、ビックルーフコンサートに参加させて頂きました。コロナウイルスがなかなか終息せずにイベント等が中止になる中、このような形で開催してもらえたことを嬉しく思います。生徒たちの司会進行、出演した生徒たちのみんなを楽しませようとする姿、プロのアーティストによるオペラ。心温まる素敵なコンサートでした。生徒主体で話し合い、実現できる環境、とても素晴らしいと思います。これからの行事も楽しみにしています。ありがとうございました!!

中学校で開催される竹灯籠はどんなものだろうと、とても楽しみにしていました。実際に学校に訪問して見ることはできなかったのですが、動画を視聴しました。ドローンを使った映像で、まずはそこに驚きました。日中、竹灯籠を設置するところから始まり、普段の学校での活動を見ることができたのも良かったです。夜へと時間が変わり、空中からとても温かな灯りが見えてきました。コロナで変わってしまった毎日に、とてもやさしい光で癒してもらいました。クラス、ブロック毎に作られた形、作品名に込められた思い。どれもとても素敵なものでした。開催期間が終わり、持ち帰った竹灯籠を見ると、願いが書かれています。一人一人の思いが詰まった素晴らしいものであったと改めて感じました。この大変な状況下に竹灯籠というイベントを開催して頂き、ありがとうございました。皆の願いが叶うことを心から祈っています。

今年は入学式も行けない状況だったため竹灯籠の日を楽しみにしていました。10月2日、月が美しい夜、想像を超えた幻想的な風景を見ることができました。中学校のホームページで、暑い夏から皆さんが大変な準備をされていた様子を見ていたので、当日は、竹を切ったり色を塗ったりする場面を想像し

ながら、とても楽しく鑑賞することができました。このコロナ禍で今できることを実行して形にした皆さんに、とても勇気づけられました。この取り組みを私たちだけで鑑賞するのはもったいない、この町のイベントとして公開すればもっと多くの人の心を動かすのではないかと、そんな未来を想像しながら一人一人の竹灯籠の思いが叶えられるよう願います。TAP、HEART、生徒の皆さん、先生方、感動的な一日をありがとうございました。

ひがし竹灯籠参観日、中学校へ行くと正門には、竹灯籠がきれいに並べられ優しい灯が私たちを出迎えてくれました。校内に入ると、東中の校章と校名が入った竹灯籠があり、とても立派で驚きました。大階段には上の方まで三角灯籠が並んでおり、日中の中学校とは雰囲気の違い、とてもきれいでした。一つ一つよく見てみると、被災された方への応援や医療関係者の方への感謝のメッセージ、イラスト等が丁寧に書かれており、それを見ると心が和みました。中庭に出てみると、各クラス工夫をして竹灯籠が並べてありました。きれいな満月の下、全校生徒の目標が書かれた灯が美しい光景で癒やされました。また、周りに並べられた竹灯籠は、美しい模様やかわいいキャラクターの物があり、見て回るのも楽しかったです。

今年は、コロナの影響で様々な行事が中止となりました。子どもたちは、不安やストレスを抱えていたと思います。そんな状況の中でも自分の心と向き合い、他の人を思いやる事が出来たのは、素晴らしい事だと思いました。この行事を計画してくださった先生方、協力してくださったTAPの方、生徒の皆さん、ひがし竹灯籠に係わった全ての方に感謝したいと思います。ありがとうございました。

今回、初めて竹灯籠を拝見させて頂きました。テレビ等では何回か見る事があり、いつか子どもにさせてあげたいなと思っておりましたので今回の企画がとても楽しみでした。残念ながら、手違いで申し込みが間に合わず実際に見る事は出来なかったのですが、動画の方で見ることが出来たので、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。本当にとても綺麗で、ドローンから撮影された竹灯籠はとても感動的でした。また、様々な願い事が書いてあり、皆さん温かい心を持ってらっしゃるのだなと、私も温かくなりました。

ひがし文化発表の部のオンライン配信では、ダンスや歌、漫才等のコンサートも、とても感動的でした。若い力と情熱を感じました。また、待望の体育会も開催されますので、無事故で大勝利でありますよう応援しております。(^^)／＼(^^)

初めて竹灯籠を見ましたが、想像していたよりもずっと綺麗で感動しました。これだけの竹灯籠を作るのは大変だったと思いますが、様々な色や形、模様が刻まれた竹に火が灯る景色はとても幻想的で心が温まるようでした。竹灯籠や三角灯籠には一人一人の願いや希望が込められており、それがクラスごと

にそれぞれ表現されているのが印象的で、東中の生徒たちの絆やブロックが一致団結してこの行事に取り組む想いが伝わってきました。今年はコロナ禍で様々なことが中止になるなど我慢を強いられることも多い中、この竹灯籠は子どもたちにとっても大人にとっても思い出に残る行事になったのではないかと思います。

10月2日の竹灯籠の点灯の日は、TAPの皆さん、HEARTの皆さん、生徒の皆さん、先生方や携わった皆さんの協力や頑張りが報われる、まさにベストコンディションの日だったと思います。実際に山の中まで竹を取りに行き、一から準備して作り上げられた竹灯籠は芸術であり、簡単な「キレイだね」の一言で済ませられるものではなく、ものすごく感動しました。竹灯籠には私の息子も皆さんと同じ様に願い事を書いていましたが、その願いは必ず叶うのではないかと思います。学校生活のなかで、このような協働活動は良い思い出にもなりますし、続けて欲しい文化だと思います。今年はいろいろ大変な1年ではありますが、心が癒される1日になったと思います。

楽しみにしていた初めての中学校の行事。やっと当日を迎えることができました。分散参観の為少人数で静かなことと、竹灯籠の火の醸し出す厳かな雰囲気とが見事に合致した時間でした。やわらかな灯りから伝わる様々なメッセージ…。ひとつのひとつの小さな灯りが集まることでそのメッセージはより明るく強さを持ち、ストレートに胸に響きました。昼間に夜をイメージしながら、大きく全体を作っていく難しい制作活動に加え、延期による気持ちの切り替えやその維持は大変だったと思います。結果として満月の夜の開催となり、美しい月の下で力強く灯る竹灯籠はまさに見事でした。「まだ学校に居たかった」と名残惜しさを滲ませる娘の普段見せないその言動は、親として大変嬉しく、本人にとっても大切な思い出になったようです。生徒の皆さん、先生方、素晴らしい時間をありがとうございました。

お化け屋敷の様な真っ暗な校内にワクワクしながら足を踏み入れてみると、そこには優しい光が広がっていました。大階段には、コロナ禍で奮闘する医療従事者への感謝や熊本豪雨被災者への励ましの文字が照らし出されており、和紙の柔らかさと相まって、皆さんの優しさが伝わってくる様な風景でした。続く廊下には細かい透かし模様が彫られた竹灯籠があり、繊細な美しさに目を見張ります。二階のベランダから中庭を見ると、赤や青、黄に揺らめく炎で様々な形が造られおり、どれもキラキラと輝いて静かな夜景を見下ろしている様な気持ちになりました。その、一つ一つの竹の中には子どもたちの夢や願いが書かれていて、明々とした光ではないのに、力強く、内に炎を秘めていることを表しているかの様でした。感染症や自然災害、戦争や人種差別など多くの困難が広がる世界の中で、暗くなるばかりでなく子どもたちには竹の様に優しくしなやかに周りを照らして欲しい、ぐんぐん伸びて欲しいと祈ります。

今年コロナの影響で全ての行事が中止され、1年の保護者としては子どもたちの学校生活を見ることができず不安ではありましたが、今回竹灯籠が開催されることとなり、夜の学校に行くことはないので子ども同様すごく楽しみでした。1年生、3年生との合同参観の日、校門を入ってすぐに灯籠が並んでおり綺麗でした。アナウンスも流れており、その時の状況が伝わってきました。廊下の両端にも灯籠の灯りがあり幻想的でした。1年生の三角灯籠には、自分たちの願いやコロナに関係する絵が描かれており、一人一人の気持ちが伝わってくる感じがしてとても素敵でした。中庭を2階から見た時は、クラスで灯籠の色や形が違い、それぞれの個性も出ていてとても感動的でした。中庭に降りてみると、竹にも願い事が書かれており、竹の中の色もブロック毎に違ってアイデア満載でした。帰る時には、学校生活が不安だった気持ちが、これからどんな学校生活を送り、どんなことを学んでいくのだろうと期待する気持ちに変わりました。心が和む30分、ありがとうございました。

天候不順で心配しておりましたが、順延日当日は、満月の光と美しく温かな竹灯籠の灯りが迎えてくれました。受付を済ませると、まず1年生の皆さんが作成した三角灯籠が美しく並んでいました。感染拡大防止や被災者の方々、医療従事者の皆様方への優しく心強いメッセージが書かれた三角灯籠の灯りを見ていると、きっと子どもたちの思いは届いている、と感じる事ができました。ピクチャーには、いくつもの竹灯籠が生徒一人一人の願いとともに、ほのかな灯りで浮かび上がり、各ブロック、各学級の作品として仕上がっていました。竹灯籠の柔らかな灯りが集まって、何とも言えない幻想的な空間が広がっており、とても感動致しました。コロナ禍でも、異学年で力を合わせて取り組めるブロック行事を行うのは、とても困難が多かったことと思います。しかも初めての取り組みのため、HEARTのメンバーを中心に、生徒の皆さんは完成に向けて手探りしながら、困難にぶつかりながらも柔軟にかつ創意工夫で乗り切り、当日を迎えた事と思います。

地域の子どもたちの為にとご尽力くださったTAPの皆さんや、生徒の健康と安全を第一に考えお力添えをくださった先生方に心より感謝申し上げます。「ふれあいの丘東風週間 竹灯籠の部」は、たくさんの方々のお協力のおかげで、見るもの全ての人に残る素晴らしいものになったのだと思います。竹灯籠の温かな灯りは新宮東中学校の思い出としていつまでも生徒の皆さんの心に灯り続けるのではないのでしょうか…。

2年生感想文

昨年の3月から色々な行事が中止となり、無気力で半ば諦めながら日常を送っていました。そんな時ふれあいの丘東風週間として竹灯籠を行うと知り、驚きとワクワク。

当日、雨の予報にドキドキしながらも、なんとか天気ももちいざイベントへ。日も落ちて薄暗かったこともあり、はじめに目に入った正面玄関の演出に大興奮。そこから見える正面階段の綺麗さにまた大興奮！

階段を上がり見下ろすと見事に飾られた灯籠たちが出現。

灯籠の柔らかい優しい光と、子どもたちの力強いメッセージに感情を揺さぶられ、安心感をもらい、何もなかった夏に素敵な思い出を刻む事ができました。

何よりも、感染予防のための時間差、学年ごとに日付を変えるなど徹底した対策により、安心して楽しむことができました。

このイベントを通じて、大丈夫だ！という大きなものを受け取りました。ありがとうございました。

令和2年度、ふれあいの丘東風週間、ひがし竹灯籠が行われました。今年に入ってから突然のウィルス流行に始まり、急遽伸びた長い春休み、緊急事態宣言からの自粛要請…親子共々我慢、忍耐の毎日。息子はマナー化した長引く休みに「毎日学校に行ってる時はめんどくさいなあと思う時があるけど、いざ行かなくなると早く行きたい。みんなに会いたい。」と、漏らしていました。そして感染対策を取りながらの学校再開…短い夏休み。

あっという間に季節は肌寒くなりました。

計画されていた色々な行事、砂の祭典が無くなり…子どもたち、特に3年生は寂しい思いをしたらろうと思います。そんな中今年最初の学校行事である竹灯籠は、夜に行なわれるってだけでも子どもたちはワクワクしたのでは？沢山の願いが込められた灯籠はどれも個性的で、自分の事だったり、世界の事だったり、物質的な事だったり、家族への願いだったり。ああ、こんな世の中でも子どもたちはとてもたくましくて強くて真っ直ぐに育っているなどひしひしと感じる事が出来ました。

みんなで協力して作り上げた、今年最初の大きな行事。当たり前の日常は、当たり前じゃないんだよって少しでも思える事が出来る、そんなきっかけになったのではと思っています。

竹灯籠の参観をしました。校門から大階段へと続く竹灯籠や、2階から見下ろす中庭の竹灯籠は幻想的で、何とも言えないほどの感動がありました。

竹に穴を彫り、ブロックカラーを塗り、1人1人の願いを書いてたりと工夫を凝らしていて、とても大変な作業だったんだなあと思いました。学校行事、イベントなど中止や延期になる中、華やかで中学生ら

しい手作りで、心温まる竹灯籠に癒され、大成功だと思います。忙しい中、竹灯籠の作成に携わった方々、ありがとうございました。

コロナ禍のせいにより、コロナ禍だから、違う行事をやれたと前向きに考えて、これからも学校生活を楽しく過ごしていってくれると保護者として嬉しいです。

今年は、いろんな行事が中止になるなかで「竹灯籠」は親子共々に感動しました。

たくさんの竹を、細かく繊細に彫ってあるのも初めて見ましたし、色あいやたくさんの光が幻想的でした。竹灯籠の中のメッセージに、「コロナ終息してほしい」と多く見られましたが、同じ思いです。体育会、修学旅行などいろんな行事が延期ややり方が変わりますが何より子どもたちが毎日元気に学校へ通える事に感謝しております。

今回立花TAPの皆さん、HEARTの皆さんは準備など本当に大変だったと思います。直接皆さんにお礼は言えませんが、

感動をありがとうございました！

去年は息子が「砂の芸術」のクラス担当をしていたのに仕事で見に行けず、今年こそはと思っていたところに新型コロナの影響で中止となり、残念な思いでございました。

しかし、その代わりに今年度は「ひがし竹灯籠」を開催すると聞いて驚きました。

新宮町と言えば立花の竹灯籠が有名ですが、携わっている方からその大変さを聞いていたからです。そして開催初日の1番乗りの時間に息子と2人で見学に行きました。

正面玄関先で教頭先生がちょうど点灯されているタイミングで、その数の多さと長い竹に施されている細工の美しさに驚きながら校内に入ります。各クラスの三角灯籠を見て大階段に向かうと、1年生が作成した三角灯籠が段に並べてあり、1つ1つに各自が気持ちを込めた言葉が書いてありました。

中庭には2年生、3年生が制作した灯りの数々があり、ここにも災害の復興やコロナ禍の収束への希望であったり、将来の自分の夢であったりと、生徒全員がこの機会があったからこそ見つけられた大切な言葉がたくさん散りばめられていました。暗い校内や中庭に浮かび上がった竹灯籠の灯りが幻想的で、昼間の校舎の姿が想像できないくらい本当に素敵な空間でした。

「砂の芸術」はみんなでひとつの物を作り上げ、やり遂げる協働の精神をはぐくむ機会。

そして「竹灯籠」は1人1人が自分自身を見つめなおしつつ、その思いをみんなでひとつの形に作り上げていく機会だと思います。

「来年も竹灯籠がやりたい」と先生に話している子の姿もあったようですし、「砂の芸術のほうが楽しい」という声も聞こえました。

来年度、何が開催されるかまだわからない状況ですが、どちらを行ったとしても子どもたちがこれから成長していく中で、すごく貴重な経験になると感じました。

最後に、かなり大変だったであろう準備の数々や、風で消える火をつきっきりで再点灯してくださった

T A Pの皆様、P T A役員の皆様、先生方、そして生徒会の皆さん、とても素敵な時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

そして、本当に本当にお疲れさまでした。

コロナ禍の中、子どもたちが楽しみにしている行事が次々に中止になり、怒りやモヤモヤをどこにもぶつけることが出来ず、なんと声をかけて良いかと迷う日々。そんな中、「ふれあいの丘東風週間」という新しい形で思考を凝らした文化週間を開催していただきましたこと、心より感謝いたします。

昨年とはまた違った文化発表会、オンラインを通し拝見いたしました。

まず、驚いたことは外で開催されていたことです。ビックルーフにステージを組み、まるでまつり新宮のような感覚だったのでは？と見ていて驚きました。出演者もこれまで以上にやりがいがあったのではないかと感じました。また、このような新しい発案をしてくれた文化安全委員長さんは素晴らしいですね。ビックルーフコンサートと題し、本番開催までたくさん悩み考えられたんだろうなと感心致しました。

それぞれが得意なことを発表するステージには大きな笑い声や声援、拍手がたくさん鳴っていましたので、みんなで楽しんでるんだろうなと画面を通し、観ているこちらでも嬉しくなりました。プロの方の演奏もあり、目の前でオペラを鑑賞。生の声を肌で感じれることは子どもたちにとってはとても貴重な機会であっただろうし、創造性をくすぐられたのではないかと思います。

生徒会の皆さんはじめ、地域の方、先生方、P T Aの皆さん、多くの方々の協力のもとコロナに負けない見事なビックルーフコンサートだったと思います。

最後に個人的な意見にはなりますが、帰宅した我が子も野外での開催がとても開放的で楽しかった！面白かった！と喜んでおりました。子どもたちが心を込めて創りあげた文化創造の瞬間が親としてもとても嬉しかったです。ありがとうございました。

竹灯籠自体を目にしたことがなかったので、今回の「ひがし竹灯籠」は楽しみにしていました。正門から普段とは違う学校の雰囲気酔いしれ、1つ1つ灯籠を眺め、時間いっぱい堪能させていただきました。優しく揺れる光に浮かびあがる、強い願いの言葉。その光が絶えることのないよう、見守る人たち。久しぶりに訪れた学校は、たくさんの人の想いで彩られていました。後日、拝見した動画では「ひがし竹灯籠」の全貌がより明らかになり、感動しました。今まで当たり前が出来たことが出来ない中、なにか出来ることはないだろうか、いろいろな工夫や対策を考えながら開催された「ひがし竹灯籠」なのだなと、改めて感じました。関ってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。

2020年、誰もが今まで経験したことのない局面と対峙しています。こんなときこそ、出来ることを出来る限りやることで、心を育てていかなければと思います。これからもいろいろな経験を通して、優しく強く子どもたちが成長することを願っています。あの日の竹灯籠の光のように。

9月23日、ひがし竹灯籠に参加させて頂きました。コロナ禍の中、学校での楽しみだった行事も中止や変更を余儀なくされた中での今回の行事。とても楽しみにしていました。新宮東中学校の子どもたちがどのような作品を見せてくれるのかわくわくしながら参加させて頂きました。入口の所では検温を実施しており、皆さんマスク着用で感染対策を徹底しているなど感じました。参加者は結構多いように感じましたが、先生方の誘導により入り口付近で混雑することもなくスムーズに入場することができました。大きな階段のところはとても幻想的で、1つ1つの小さい灯りが揺れて大きな作品になっており感動しました。作品をよく見ると東中の子どもたちの願いが書かれてあり、それもまた感動しました。世の中がコロナ感染症で侵されていますが、このような状況でも子どもたちは未来に希望を持ち、今を生きることがわかり嬉しくなりましたし、子どもたちから元気を貰うことができました。

2020 TAP×HEARTの文字はカラフルな灯りに包まれておりとても綺麗でした。息子の竹を探しました。息子の竹には大きな力強い字で「世界中の人が平和に暮らせませすように」と書かれてありました。家では素っ気無いですが息子の優しい心も知ることができました。ありがとうございました。

校内各階に展示された生徒たち、そして一般応募の方々の作品、どちらもまさに“芸術の秋”にふさわしい物ばかりで楽しむことができました。

コロナ禍もあってか、校内には部活動の生徒たちがちらほらいるのみで他に保護者も不在でした。一般応募の作品でまず目に入ったのが手毬です。カラフルで様々な模様で織り込まれた毬は繊細で上品に仕上がっていました。1つ、2つではなく多く飾ってあったのもとても印象的でした。写真も厳選された1枚、という感じで迫力がありませんでした。

1年生の作品、オリジナルの靴は是非実現してもらいたい！という程のアイデア&クオリティでした。

2年生の作品は、背景が黒なだけにどこに色を散りばめるか色々考慮したようですね。

3年生の作品は1つ1つ形が違って、どれが手に馴染むかな？なんて思いながら眺めていました。作品を作っている最中の写真とかあると見てみたいな、とも思いました。

それぞれテーマに沿って色付けされ、火を灯された竹灯籠は儂く輝いていたようですね。よく見ると1つ1つに自らの願いが書かれていて、星に願いを、ならぬ月に願いを託したのかな。

東中の歴史はまだまだ始まったばかりですが、竹灯籠は東中の伝統として代々受け継いでいてもらいたいアクティビティの1つだなと思いました。

3年生感想文

すみません。今回、竹灯籠も文化発表会も仕事の都合で行く事が出来ませんでした。動画でしか見てないのですが、とても綺麗で感動しました。子どもたちの願いが叶いますように。

予期せぬコロナ禍の中で竹灯籠を開催していただきお礼を申し上げます。前日が中秋の名月、輝いた月の下での開催。自然の手助けもあり素晴らしい企画でした。孫は各種行事が中止になる事を悲観致しておりましたが、縮小されたとは言え、先生方のご尽力により行事も行われるとの事、本人、家族楽しみに致しております。歴史に残るであろうコロナウイルスの発生は、生徒たちが将来必ずや笑って話の種となる事と確信します。各種行事の開催は未知の世界に踏み入れるような状況かもしれませんが、校長先生以下教職員の皆様のご支援を、期待とお願いを致す次第です。ご活躍をお祈り申し上げます。竹灯籠の開催ありがとうございました。

令和2年9月23日、時折雨が降る様子もあり開催が心配でしたが、開催時間になると天気が落ち着き無事に娘と見て回ることができました。少し薄暗い校舎内を、ゆっくりと歩き進んでいくと、大階段の三角灯籠が目に入ってきました。灯籠のあかりでほわっと階段が明るくなっていました。よく見ると、一つ一つ絵や願いなどが書いてあって思わずじっくりと読んでしまいました。次に中庭全体を見渡せるテラスに出て、各ブロック、クラスが作り上げた作品を眺めました。赤、青、黄色のあかりでそれぞれが考えたテーマで、普段は暗いであろう中庭が優しいあかりでいっぱいになっていました。下に降り、近くでそれぞれの作品を見に行きました。こちらも一つ一つの竹灯籠に子どもたちの思いや願いが書かれていて、普段通りの生活が一変してしまった今年に対しての素直な気持ちや、受験に対する思いなどたくさんの人の気持ちを知ることができました。周囲にいた他の方たちも真剣に子どもたちの思いを読んだり、あかりをじっと眺めたりしてゆったりとした時間を過ごされているようでした。今年、色々な行事が延期・中止になる中、少しでも思い出をと考えてくださった先生方やPTAの皆さんに感謝したいと思います。

10月2日の竹灯籠を見に行きました。正面玄関からの竹灯籠から大変綺麗でした。階段に並んだ三角灯籠や竹灯籠たちに書かれた言葉、願いなど子どもたちの思いが伝わって良いと思いました。2階から見た中庭の灯籠たちは素晴らしかったです。クラスやブロックそれぞれの形や色に付けられた思いは、近くで見てもきれいでした。あれだけの竹と灯籠、皆さんの努力を思うと頭が下がります、沢山の皆さんの頑張りのおかげで素晴らしい竹灯籠を見ることが出来ました。台風や強風予報などで何度も延期になりもしまし

たが、綺麗な竹灯籠を見られて良かったです。ありがとうございました。

心地よい秋風が吹く満月の夜に「ひがし竹灯籠」の参観に参加させていただきました。旅館の軒先などで、竹灯籠を見かけたことはありますが、こんなにもたくさんの竹灯籠を目にしたのは初めてです。正門から入ると両脇に竹灯籠が並べられており、とても幻想的で美しかったので今までにない参観に胸が高鳴りました。大階段に飾られているたくさんの三角灯籠には、被災地の方やコロナウイルス感染症の中、頑張っている医療従事者の方に向けた生徒たちのメッセージが添えられており、とても温かい気持ちになりました。各学級作品には、竹灯籠一つ一つに生徒の思いや願いが書いてありました。中学校生活も残りわずかとなった3年生の灯籠からは、高校受験に向けての覚悟や高校へ進学を楽しみにしていることが伝わってきました。どの竹灯籠も個性的で美しく、並べ方にもこだわりがありとても綺麗でした。竹に穴を開けて綺麗な模様を施し、文字を彫るのは硬い上に繊細さも必要で大変な作業だったと思います。夜の暗闇の中で光る竹灯籠はどこか儚げですが、たくさん集まることでしっかりとした存在感を持ち、みんなで作り上げた作品に灯る無数の光からは団結力と中学生らしい逞しさを感じることが出来ました。今年は色々と制約が多いですが、このような素敵な行事を通して忘れられない思い出が出来ました。ありがとうございました。

コロナの影響で今年の全ての行事は、ほぼ無理だろう…と諦めていた中、竹灯籠があると知りおどろきました。竹灯籠を見た事がなかったので想像が付き、すごく楽しみでした。当日、中学校の門を入り玄関を見てビックリ。すごい！綺麗！ たくさんの竹を並べ集まった揺れる光が本当に綺麗で、時間がゆっくりと流れ不思議な空間に来たような感覚になりました。中学校の大きな階段も利用されていて、迫力すごかったです。最後に中庭ですが、子どもたち頑張ったんだな…と感動してしまう光景でした。クラスごとに並んでいるようで、よく見ると竹の中にお願い事が書いてありました。受付で頂いたパンフレットを見ようとしたのですが暗くて字が見えず…。我が子のクラスを探すのに時間がかかりましたが何とか見つけて、お願い事を見る事ができました。綺麗な光と子どもたちのお願い事やいろんな思い…とても癒され、コロナという現実を少し忘れさせてくれるようなひとときでした。準備から片付けまで、たくさんの方々が動かされたのだろうと感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ禍で嫌な思い出ばかりが増えていき行事がなくなっていく中、新たな事にみんなで取り組む事ができたこの経験は、子どもたちにきっと大きな経験値と素敵な思い出として残ったに違いありません。先生方、御協力して頂いた方々、そして子どもたち本当にお疲れ様でした。素敵な時間をありがとうございました。

(編集後記)

いつもPTA活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

感想文を提出していただいた皆様、本当にありがとうございました。誠に勝手ながら提出した原文とは異なる文字を使用するなど修正をさせていただいております。

今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。